

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

★ 町 子ども会育成会連絡協議会で表彰 子ども会活動発展に尽力

6月8日、第44回鹿児島県子ども会育成連絡協議会定期総会が鹿児島県青少年会館で開催され、長島町子ども会育成連絡協議会副会長の崎迫さとみさん（市来崎集落）が表彰されました。

崎迫さんは、平成8年に東町子ども会育成会に入会。その後同会理事や新生長島町の子ども会育成連絡協議会副会長、北薩地区子ども会育成連絡協議会役員として子ども会の発展に尽くされました。受賞した崎迫さんは「微力ながら子ども会のために頑張りたい」と抱負を語りました。



今回表彰を受けた崎迫さとみさん↑

★ 秋 鷹巣幼稚園が芋植え体験 の実りが楽しみ

鷹巣幼稚園（緒方智憲園長）は6月8日、園外保育の時間を使ってサツマイモの芋植え体験を行いました。

園外の様子に興味や関心を持ち、自然を肌で身近に感じようとするこの取り組み。同日は、3歳児から5歳児までの園児20人が参加しました。同園の園児たちは、保護者で農業を営む岩下政司さんが準備した蔵之元の畑に移動し、岩下さん夫婦から苗の植えかたを教わった後、紅はるかや紅あずま、黄金千貫、種子島紫の4種類250本を植えました。園児たちは、専用の苗を刺す道具で器用に植え「大きくなってね」と声をかけていました。時折、畑の中で昆虫を見つけ喜び声が響くなど、小高い丘の上の畑で楽しい時間を過ごしていました。



遠くには天草の山々が見渡せる蔵之元の芋畑↓

「大きくなってね」と声をかけながら放流する児童ら↓



☆ ひ 幣串小がヒラメの稚魚放流体験 ようたん島で500尾放流

獅子島の幣串小学校（坂元英透校長）は6月13日、ヒラメの稚魚放流体験を行いました。

この日、児童らは学校林として活用しているひょうたん島に移動。本町種苗センターの職員から放流の前に「生き物が育つには緑を守り育てることも大事」と自然との共存について話があり、児童らは体長10センチほどの稚魚500尾余りを放流しました。5年の浦田七海さんは「今日放流したヒラメが大きくなれば、ぜひ釣ってみたい」と成長を期待しました。